

2. 西東京市における農業・農地の多面的機能発揮に関わる現状の取り組み

西東京市の貴重な農地を保全していくために、農業・農地の持つ多面的機能を活かし、農業者や市民、市が連携して都市と農業が共生するまちづくりを進めていく必要があります。

農業振興計画やその他の関連計画での、農業・農地を活かしたまちづくりの多面的機能の取り組みは、以下のようになっています。

多面的機能	
農産物供給機能	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物認証制度の普及 ・エコファーマー認定普及 ・めぐみちゃんブランドの普及 ・企業、市民との連携による加工品開発 ・行事と連携した直売の拡大 ・学校給食の拡大 ・消費者との交流によるニーズの把握 ・農業情報の提供 ・農産物加工の実施 ・直売等販売の支援実施 ・地産地消の普及啓発 ・苗木の無料配布の推進
レクリエーション・コミュニティ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験農園の整備 ・農業情報の提供 ・市民農園としての活用 ・援農ボランティアの育成、活用 ・農を通じた市民との交流促進 ・散策ルートの調査・研究と整備
福祉・保健機能	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地や農地でのみどりとのふれあいや健康づくり
環境保全機能	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝等のチップ化の支援 ・環境にやさしい農業の支援 ・落ち葉の堆肥化やエコクッキング
教育機能	<ul style="list-style-type: none"> ・学校農園の促進 ・援農ボランティア育成事業の活用 ・幼児期、小学校低学年の収穫体験 ・小学校中・高学年の学校農園体験 ・農産物加工・料理講座の開催 ・学校給食関係者の交流 ・農業体験の推進 ・地産地消の普及啓発 ・食をとりまく環境の理解 ・食育ネットワークによる食育の普及啓発
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・防災農地指定の検討
景観形成・歴史文化伝承機能	<ul style="list-style-type: none"> ・農地へのごみ投棄の防止 ・農地周りの環境美化の推進 ・農業景観に親しむ散策会の開催 ・地域の食文化の継承 ・シンボリックな緑地の保全 ・花いっぱい運動の推進

(1) 農産物供給機能

取り組みの名称	取り組みの概要
エコファーマー認定普及	現在西東京市では、14名がエコファーマーの認定を受けている。
めぐみちゃんブランドの普及	市民公募により平成17年4月に農産物キャラクターめぐみちゃんが誕生した。 平成20年度、市で、キャラクターが入った野菜袋と結束テープを作成し認定農業者を中心に配付を行った。 今年度、着ぐるみを作成し、市民にアピールを行っている。
企業、市民との連携による加工品開発	今年度、地場産野菜を使ったレシピ集を作成予定である。
行事と連携した直売の拡大	ごみ減量推進課で行っている「りさいくる市」で年数回農友会が野菜の直売を行っている。また、梨組合が毎年8月頃にこもれびホール前で直売会を実施している。
学校給食の拡大	今後、引き続き検討していく。
消費者との交流によるニーズの把握	1年度あたり、3本ほどの交流事業を行っている（レクリエーション・コミュニティ機能欄参照）。この中で都市農業や安全安心な農産物へのニーズの高さを感じている。
農業情報の提供	農産物マップを作成した。（レクリエーション・コミュニティ機能欄参照）
農産物加工の実施	ジャム（一部NPO団体）、カステラ（一部民間）を製作した。
直売等販売支援実施	平成18年3月に各直売所を掲載した農産物マップを作成した。 旧保谷市で直売所設置補助を行っていた。（上限5万円）
地産地消の普及啓発	今年度、市内産野菜を使った料理実習会を行った。（H22.1.30）
苗木の無料配布の推進	みどり公園課において、年1回市民に苗木の無料配布を行っている。

(2) レクリエーション・コミュニティ機能

取り組みの名称	取り組みの概要
農業体験農園の整備	平成20年度に北町に農業体験農園が開設された。 市では、開設に係る補助金（上限200万円）を出している。
農業情報の提供	H18、H21（予定） 農産物マップを作成した。
農業マップの作成	平成18年3月に各直売所を掲載した農産物マップを作成した。 また、今年度更新を予定している。
市民農園としての活用	市街化農地を市民農園として活用している。
援農ボランティアの育成、活用	毎年、2回の講義と10回の実習を経て援農ボランティアを育成している。 これまで54名を育成。今年度は7名となっている。
農を通した市民との交流促進	①農業景観散策会を1回開催した。 農業者と生活者の交流、都市農業の担う役割についてなどの学習を目的に農産物マップの散策コースを活用して開催した。 今年度は、10月17日（土）に開催した。 ②食とはたけの学校を4回開催した。（平成20年度 3回、平成21年度 1回） ③食育推進事業（無農薬野菜を作ろう）を開催した。（平成21年9月 種蒔き、平成21年11月 日本産ほうれん草収穫、平成21年12月 大根収穫） ④市内産野菜活用事業（クッキング講座）を1回開催した。（1/30）
散策ルート of 調査・研究と整備	平成17年度に公園緑地課（西東京市自然を見つめる会協力）が調査、研究し、これを農産物マップ等で活用している。

(3) 福祉・保健機能

取り組みの名称	取り組みの概要
緑地や農地でのみどりとのふれあいや健康づくり	① 農業景観散策会を開催した。（レクリエーションコミュニティ機能 農を通した市民との交流促進参照） ② 食とはたけの学校を開催した。（レクリエーションコミュニティ機能 農を通した市民との交流促進参照）

(4) 環境保全機能

取り組みの名称	取り組みの概要
剪定枝等のチップ化の支援	H17、18年度、市内植木農家を中心にチップ化の取り組みを行った。
環境にやさしい農業の支援	西東京市安全安心農業推進事業にて、堆肥等を購入する費用の2分の1に相当する額の補助金を出している。(上限3万円、但し西東京市認定農業者は上限5万円)
落葉の堆肥化やエコクッキング	企画政策課、環境保全課で20、21年度に実施している。

(5) 教育機能

取り組みの名称	取り組みの概要
学校農園の促進	小学校8校で実施している。中学校は未実施である。
援農ボランティア育成事業の活用	養成講座終了後のボランティアが各農家で引き続き活躍している。今後は、マッチング事業に取り組む予定である。
幼児期、小学校低学年の収穫体験	市内児童館(センター)、幼児サークル、保育園で地場産いもほり体験を行っている。 学校農園で収穫体験し、学校給食で活用している。
小学校中・高学年の学校農園体験	同上
農産物加工・料理講座の開催	家庭科で料理実習等行っている。
学校給食関係者の交流	月1回栄養士会に教育委員会も出席している。 農家と栄養士が個別に交流している。
農業体験の推進	学校農園をすすめている。
地産地消の普及啓発	「学校給食献立表」(月1回程度発行)にて地場産農産物納入農家を掲載している。 給食時間に放送を行っている。
食をとりまく環境の理解	事業を通して理解促進を図っている。
食育ネットワークによる食育の普及啓発	今後も関連セクションと連携して検討し、実施していく。

(6) 防災機能

取り組みの名称	取り組みの概要
防災農地指定の検討	平成19年度に両JAと災害時における協力に関する協定書を結ぶ。 現在、106ヶ所、約131,000㎡を指定している。

(7) 景観形成・歴史文化伝承機能

取り組みの名称	取り組みの概要
農地へのごみ投棄の防止	今後、方策を検討していく。(農業振興計画事業)
農地周りの環境美化の推進	同上
農業景観に親しむ散策会の開催	毎年、農産物マップの散策コースを活用して開催している。 今年度は、10月17日(土)に開催した。
地域の食文化の継承	H19、20年度に旧保谷市域の伝統の小麦を栽培し、うどん作りを実施した。(全7回)
シンボリックな緑の保全	緑地保全地域を2箇所指定している。
花いっぱい運動の推進	みどり公園課で実施している。